

人類動態学会 19期 第10回理事会

日時：2008年2月22日（土） 10：00～11：40

場所：筑波大学教育開発国際協力研究センター東京分室 E157

出席者(敬称略)：植竹照雄 岡田明 岸田孝弥 小木和孝 酒井一博 平野和彦 真家和生
松村秋芳 竹内由利子(事務局幹事)

配布資料： 資料1 第43回大会案内(HP掲載の第一報抜粋)
資料2 第44回大会案検討経過報告
資料3 選挙の実施計画案
資料4 「働態研究の方法」寄稿募集
資料5 事業報告、事業計画(案)の提出について
資料6 内部評価実施の依頼文(案)
資料7 活動カレンダー

○会員動向(下記を含め217名 前回理事会より1名減)

<退会>

太田武夫(香川県立保健医療大学)

石原慎士(八戸)大学

進藤宗洋(福岡大学体育学部)

<入会>

伊藤昭(北町整形外科医院リハビリテーション科)

増澤洋一(千葉工業大学経営情報科学科准教授)

※いずれもメールにて受付。紹介者等は不明。

◎声を掛け合い、積極的に紹介、勧誘して、会員を増やすようにする。

●審議事項

1. 2008年度全国大会(第43回大会)について

- ・第一報がHPに掲載された(3/16)。資料1はその抜粋。
- ・開催日の確認。6月21日(土)～22日(日)。内容等は検討されていないが、前日の6月20日(金)に夏季研究の開催を行う意向。できれば沖縄らしさが出るようにしてほしい。
- ・理事をはじめ、多くの参加を呼びかけていきたい。

2. 2009年度全国大会(第44回大会)について

- ・山岡さん経由で岡田明さんに打診されたが、岡田さんは現在、人間工学会で役に就かれていることもあり、手が回らないのが実情である。来年度以降であれば検討の余地があるとのこと。
- ・内々に片岡さんに了解を得たが、あと2年で退職となるため、ゼミ生を持たなくなったりと、マンパワーの面で不足する。人的な応援体制を考えないと厳しい状況ではある。
- ・国際シンポジウムを企画したらどうか。

3. 選挙準備(選管の承認と実施について)

- ・前回理事会で候補として挙げた吉川徹さん(労研)、榎原毅さん(名古屋市立大)、山田有佳倫さん(日

産)に内諾を得た。榎原さんには選挙管理委員長も依頼。

→本日、理事会として承認する。

- ・日程として、4月2週に投票用紙発送、4月4週に投票締め切り、5月上旬に開票とし、開票結果は5月の次回理事会に間に合わせることにする。

4. 「働態研究の方法」について

- ・現在のところ、35編集まっている。目標は80編であり、引き続き集める予定である。まだ投稿していない理事の皆さんをはじめ、声を掛けて寄稿に尽力いただきたい。
- ・すでに投稿をした研究者からは、出版までに間が開いてしまうと研究として古くなってしまい、との意見も寄せられている。少なくとも、43回大会のときにある程度の経過を報告する必要がある。

5. 自己評価について

- ・昨年、初めての試みとして行ったが、理事会だけであった。今年は全会員に評価してもらおうと考えている。
- ・評価項目や基準について、一般の会員にはわかりにくい部分があるのでガイドとなるような資料の添付が必要になる、総会で説明のうえ記入回収をする、選挙の通知に同封して返送してもらう、HP経由で回答してもらう等、いくつかの提案・検討課題が出された。5月の理事会までに活動案等が提出されるので、これらを踏まえ、検討することとする。

●報告

3月で会計年度が閉じるのに合わせて、決算案、予算案、事業報告、事業計画(案)を、次回の理事会(5月)で審議したい。各担当理事には3月中をめどに、事業報告、事業計画(案)の提出をお願いする。

1. JHE

- ・36巻の1号は先週発送した。2号は現在校正中。4月に発行予定。
- ・37巻1号は6月には発行したいが、6編とも、もう少しの状況である。
- ・投稿は月平均2編くらいある。

2. 国際交流

- ・SEAESより今月はじめにメールがあり、今後は各国ごとにIEAに加盟してほしい旨が記載されていた。SEAESとしてのIEA参加は取り下げ、ASEANの連合体として再構築することを検討しており、11月のバンコクで正式に提案される予定である。
- ・SEAESがソサエティでなくなれば、意思決定が複雑化する。JHEは現在共同発行の形をとっているが、今後(2009年38巻から)は変えていく必要が生じる。
- ・今後の関わり方は理事会で検討していく。

3. 研究推進

- ・共生シンポも4回実施したので、一度総括を考えたら良いのではないかと。
- ・43回大会でシンポジウムを考えている。内容は「利き手と道具」(案)で、人間だけでなく動物まで。沖縄では70年代に右から左に通行を変えた経緯もあり、当地の特色も出せるのではないかと考える。大会長の近藤さんと早急に協議する必要がある。
- ・事故との絡みでワークショップができると、大会とシンポと、双方に関心が高まるのではないかと。検討されたい。

4. 「働態研究の方法」の募集に関して

- ・JHEに掲載された研究者に、再構築の上、投稿を依頼したらどうか。その際には、HJE編集長、学会長名で依頼すると良いのでは。

5. その他

- ・会計より、会費の未納(滞納)状況の一覧を提出。回覧してもらう。5年以上の未納者には、個別に

打診していくこととする。また、複数年未納者に対して会費納入のお願いを、会長名の手紙付き特別便として発送したい。

- ・雑誌の刊行遅れは、退会者や会費の未納の大きな原因となっていることは否めない。JHEの発刊が正常化された後、まとめて請求すれば団体(日体大など)も含め、支払われるのではないか。会費に見合ったサービスがなされていなかったとも受け止められる。
- ・会費の請求書に、会計年度の期間を明記してほしい。
→08年度会費請求より盛り込むこととする。また、会員所属先から会費納入に必要な書式を要求された場合には、最大限の協力をするので、遠慮なく申し出てほしい。

次回の理事会日程：第一候補→5月31日(土)午前中

第二候補→5月10日(土)午前中 とし、後日日程調整を行う

以上